

沈まず

たゆたえども


パリ市の紋章にはラテン語で
“Fluctuat nec mergitur”と書かれている。
意味は「揺れはするが、沈まない」
そう、「たゆたえども沈まず」。

東日本大震災から10年

1850時間の映像から紡ぐ記録映画

企画・製作：テレビ岩手 監督：遠藤 隆 (テレビ岩手)



ナレーション：湯浅 真由美

つなげよう、復興ハート!  テレビ岩手

構成・編集：佐藤幸一 音楽：馬場葉子

制作協力：日本テレビ放送網株式会社 株式会社宮城テレビ放送 株式会社福島中央テレビ/NNN取材団 特別協力：読売新聞社 後援：岩手県/岩手県教育委員会

協賛：株式会社アート不動産 株式会社エヌティーコンサルタント/セイコーホールディングス株式会社/株式会社東北銀行/トヨタカローラ岩手株式会社/株式会社三ツ星商会

2021年|日本|103分|16:9|カラー|DCP|ドキュメンタリー   www.tvi.jp/tayutaedomo/

©2021テレビ岩手

この映画の収益金はすべて被災地復興のために寄付します。

上映会と 4月1日(金) ①13:00 ②18:00

出演者講演 4月2日(土) ①10:00 ②13:15

会場 ウイズもろやま ホール(毛呂山町岩井5-16-1)

参加費 高校生以上 1,000円、0歳~中学生 無料

主催 「たゆたえども沈まず」自主上映実行委員会

後援 釜石市

小川町教育委員会・越生町教育委員会・ときがわ町教育委員会・鳩山町教育委員会

飯能市教育委員会・日高市教育委員会・毛呂山町教育委員会・嵐山町教育委員会

釜石のがつつらうめえ特産品販売会

4月1日 12:30~21:30 ☆販売会は

4月2日 9:30~16:30 入場無料

道の駅・仙人峠が特別出店!

お申込み・お問い合わせ
メールはこちらから➡



テレビ岩手のカメラが撮り続けた10年間の記録

2011年3月11日。

この日、震度7の地震と津波が東北地上を襲いました。

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災です。

わたしたちは震災直後から被害の状況、被災者の安否をテレビ放送を通じて伝え続けました。

あれから10年。

がれきの山はなくなり、防潮堤が整備され、低い土地はかさ上げされてそこに新たな街ができました。

しかし、復興は終わったわけではありません。

あの日から生活が一変した人々は、今なお、もがき、揺れ動き、大きなうねりの中に身をゆだねながらも懸命に生きています。

たゆたえども沈まず。

テレビ岩手が10年にわたり取材し、伝え続けてきた東日本大震災をこれからも後世につないでいくため、

私たちは「映画」として想いを残すことにしました。

この映画はドラマではありません。様々な考えを否定するものでもありません。

そこで暮らす人々の10年間の生きざまを切り取った真実の記録です。

どうか目を閉じることなく現実を見てください。

そこに生きる人々の想いを知ってください。

被災地の放送局として、カメラを向けた責任を持つものとして、膨大な映像と人々の想いをどう生かしていくのか。

そんな想いを込めて、東日本大震災の映画を製作しました。



たゆたえども沈まず

あれから10年

ふたたびのビデオレターをあなたに届けます。

どこよりも早く始め、避難者の声を連日放送し続けたビデオレター。

「地域の足であり続ける」と、震災5日目に走り始めた三陸鉄道。

近所の人々が身を寄せ合い、急ごしらえの避難所となった旅館の覚悟。

行方不明の夫に手紙を書き続けた妻は、ようやく役所に届けを出しました。

あの時授かったふたつの新しい命は、自転車の練習がてきになりました。

あの日、同級生たちと高台に逃げた中学生は、三陸鉄道の運転手さんになりました。

それぞれの10年、私たちの10年、

ふたたびのビデオレターを、いま、あなたに届けます。

2013年から毎年釜石市との交流を続けていたモダンダンスサークルの有志を中心に実行委員会を結成。2019年「一陽来復」に続き、東日本大震災からの復興に取り組む東北の現状と現地の人々の想いを伝えます。

岩崎昭子氏 ご紹介

岩手県釜石市の根浜海岸で昭和38年から続く旅館宝来館の女将。東日本大震災では一度は津波にのまれながらも奇跡的に生還した。まちの復興、ラグビーワールドカップ招致にも尽力。



「たゆたえども沈まず」自主上映会

参加費 高校生以上 1000円、0歳～中学生 無料

☆チケットは各回共通券です

☆0歳～中学生券は「子ども」と記載いたします

<各回共通内容>

- ・上映「たゆたえども沈まず」103分
- ・監督メッセージ映像 20分
- ・鈴木堅一氏（一陽来復出演）のビデオレター
- ・出演者 岩崎昭子氏の体験談 45分

（2日の最終回の講演は上映前に行います）

お申込先 tayutau2022@gmail.com

お名前・連絡先・希望回を明記 →



映画情報

テレビ岩手 www.tvi.jp/tayutaedomo/